

熊本家庭裁判所委員会（第34回）議事概要

第1 開催日時等

1 日時

令和元年10月25日（金）午後1時30分～午後3時20分

2 場所

熊本家庭裁判所第1会議室

3 出席者

（委員）

北村直登，紫藤千子，鈴木俊洋，丁畑博胤，永田広道，宮内大介，横山千尋，
吉田道雄，松本美季，熊谷功太郎，井上博喜，根本涉

（事務局等）

事務局長，首席家庭裁判所調査官，首席書記官，次席家庭裁判所調査官，訟
廷管理官，主任書記官，会計課課長補佐，総務課長，総務課課長補佐，総務課
文書係長

4 意見交換テーマ

熊本家庭裁判所における家事事件の運営と工夫例（調停手続を中心に）

第2 議事概要【発議者の略記 ◎：委員長，○：委員，◇：事務局等】

1 開会

2 新任委員のあいさつ

3 議事

- (1) 家事調停手続の流れ及び手続相談・受付段階での「苦慮している点」
や「工夫している点」等を説明
- (2) 調停期日準備及び期日実施段階での「工夫している点」や「苦慮している
点」を説明
- (3) ご意見を伺いたい事項

(パワーポイント資料「熊本家裁における家事事件の運営と工夫例について(調停手続きを中心に)」を使用した説明)

4 意見交換

【受付窓口について】

- 利用しやすさの観点から、通常の間に来庁できない人に対して、時間外や休日(土曜の午前等)の窓口を設けたらどうか。また、窓口のブースについては、隣に聞こえることに抵抗がある人がいるため、個室があればよい。
- ◇ 希望があれば別室で対応している。
- 家事事件に関する受付相談というのではなく、広く相談を受けるところから入るとするのがよいのでは。
- 対応困難者に苦慮しているのはどこも同じであり、市役所は対応例が多いので参考にしているかどうか。
- 対応困難者に対しては、時間を区切る、複数人での対応、同じ内容の相談は一度しか受けない等の対応をしている機関もある。
- 録音や録画すると抑止力にはなる。
- 法務局は予約制、年金事務所は予約制と飛び込みの両方で窓口対応されている。窓口のブースの配置や設備は客観的にみて、プライバシー確保が十分ではない。また、子供の目線からキッズコーナー(絵本やおもちゃを置く。)を設けるなどして、大人の相談者がしっかり話ができる環境を作ったらどうか。

【障害者配慮について】

- ルビが振ってある案内とか、専門用語等を補足する説明資料があればよいと思う。
- わかりやすい説明を行い、じっくり相手して刺激せず聞いてやる必要がある。

【安全について】

- 金属探知機による身体検査は、どんな場合にどこで実施しているか教えてほしい。
- ◇ 金属探知機の検査は、危害を加えたことがある、凶器を持ってくる可能性がある等の蓋然性が高いケースについて必要と判断した場合は、調停室などの人目につかない部屋で実施している。
- 安全確保の観点からゲート式金属探知機を導入してはどうか。また、警察との連携についてはどうか。
- ◇ 個別案件ごとに必要があれば事前に警察に情報提供して緊急時の迅速な対応を依頼している。
- ◎ 貴重なご意見ありがとうございました。

5 次回のテーマ

「子の福祉の実現に配慮した調停運営」をテーマとすることで、委員全員が合意した。

6 次回期日

令和2年5月22日（金）午後1時30分

7 閉会